


<p>基本方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法を基本として、あそびと生活の場を通じ、日常生活における基本的な動作及び知識技能の習得並びに集団生活への適応のための支援を行うことにより、人間形成の最も重要な幼児期にある児童の情操の発達を促し、もって身辺自立能力の向上、及び社会性の発達を図ります ・児童の保護者の協力のもと、集団及び個別療育サービスを行います ・児童及びその保護者の心身の状況等の把握に努め、相談に適切に応じます ・児童の発達に必要な療育機関等の情報提供及び連携に努めます 		
<p>るし大 こて切 といに</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆お子さんの持っている力を信じます ☆お子さんや保護者の皆様の気持ちに寄り添います ☆小さな気づきを大切にします 		
<p>営業時間</p>	<p>9時30分から16時00分</p>	<p>送迎実施の有無</p>	<p>あり (日中児童のみ)</p>
<p style="text-align: center;">大切にしたい5つの領域</p>			
<p>本人支援</p>	<p>健康・生活</p>	<p>健康の維持、改善 生活リズム、生活習慣の形成、基本的な生活スキルの獲得 身の回りのことに関心を持ち、自分でできる事を増やす 自分のものと人のものを区別し、自分でやることがわかる環境を整える *具体的なプログラム内容：食事、排せつ、衣類の着脱、おしたく等</p>	
	<p>運動・感覚</p>	<p>姿勢、運動、動作の向上 感覚の総合的な活用、統合 視覚、聴覚、触覚、固有覚等の感覚を活用する遊びを経験する 身体の動きが育つ、用具や道具を使う *具体的なプログラム内容：散歩、巧技台、体操、毛布ゆすり、そり、粘土、砂、指先の遊び等</p>	
	<p>認知・行動</p>	<p>認知の発達と行動の習得 空間、時間、数等の概念の形成 様々な情報から多くのことを感じ、気づき、行動する力を育む。物の機能や属性、色、形、時間、数量等がわかる *具体的なプログラム内容：絵本、パネルシアター、楽器、光、パズル、積み木、制作等</p>	
	<p>コミュニケーション</p>	<p>言葉の理解、受容及び表出 相手に自分の気持ちを伝えられるように、コミュニケーションの手段を身に付けるYES、NOの意思表示や選択をする *具体的なプログラム：呼名、絵本、手遊び、紙芝居、模倣遊び、ごっこ遊び、コミュニケーションツールの活用等</p>	
	<p>人間関係・社会性</p>	<p>愛着行動、他者への関心、関わりの形成 仲間づくり、集団参加 ひとり遊びから集団遊びへ。集団生活に必要なやりとりやルール、決まりを身に付ける *具体的なプログラム：集まり、ふれあい遊び、順番や交代の経験、ルールのある遊び、パラシュート、ムーブメント、遠足やお楽しみ会などの行事への参加等</p>	
<p>支援</p>	<p>移行先（学校や幼稚園、保育園）と連携し、集団生活の中での困りごとを減らし、過ごしやすい環境を整える *就学、就園における情報提供、就学支援シート、児童生活状況表の作成等</p>		
<p>地域</p>	<p>様々な経験を通して、子どもとその家族が地域の中で自立した生活を送れるように支援する *買い物体験、保育園交流、室外療育や消防署見学等社会資源の利用、他機関（医療、健サポ、他事業所等）との連携、地域行事やサービス等の情報提供等</p>		
<p>家族</p>	<p>子どもと保護者、その家族が安心して生活できるように支援する 支援場面に同席する個別療育において、子どもの特性や発達をふまえた関わり方等に関して、相談援助等を行う *個別支援（ST、OT、心理相談等）、家族講座、講演会等の実施、個別面談、親子活動、フィードバック等</p>		
<p>職員 の 資 質 の 取 組 に 資 する</p>	<p>職員の専門性及び資質向上を図るために、職場内研修、室外研修、保育園職場研修を経験年数や職域に応じた職員が適時受講している。研修内容は全職員が共有出来るよう報告会を実施している。独自の勉強会では『子どもの身体を知る～36の基礎運動』『子どもが主体的に遊べる環境を考える』をテーマに定期的に関係し学びとしている。</p>	<p>主な行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進級・入室の日・春お楽しみ会 ・ひよこ号バス散歩・七夕集会 ・水遊び（プール遊び・お月見・室外療育（遠足） ・秋のお楽しみ療育・身体を動かして遊ぼう会 ・冬のお楽しみ会・節分・ひな祭りお茶会 ・卒室を祝う会 ・お別れバス散歩